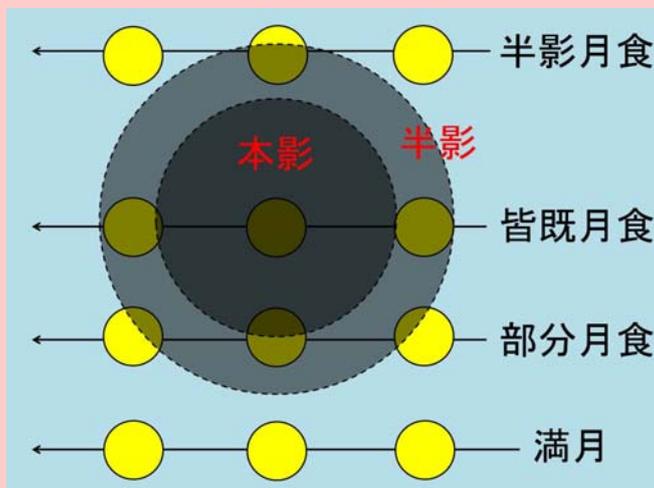


いつもより暗い満月に気づけるか!?

11月28日、半影月食と呼ばれる現象が見られます。「月食」と名がついていますが欠けた月を見ることはできません。その代り、満月がほんの少し暗くなるのです。半影月食とはいったいどのような現象なのでしょう？ そして、ほんの少し暗くなった満月に、皆さんは気づくことができるのでしょうか…？

半影月食のしくみ

そもそも月食は、月が地球の影に入って、月が隠される現象です。地球の影には、地球が完全に太陽を覆い隠した状態の「本影」と、地球が太陽の一部を隠した状態の「半影」とがあります。月が本影に入ると、月が欠けて見える部分月食や皆既月食なるのですが、月が半影にしか入らないと、月は欠けることがありません。月に届く太陽の光がやや弱まるため、ほんの少し月が暗くなる程度なのです。



2009年2月9日の半影月食
(左が半影月食中で右が半影月食終了後。左の写真は月の左上が暗くなっているのがわかりますか?)

暗くなった月に気づけるか?

半影月食は非常にわかりにくい現象です。今回の場合、月の上のほうがほんの少し暗くなったかな…？という程度で、肉眼ではほとんどわからないかもしれません。そんなときは写真に撮ってみましょう。コンパクトデジタルカメラでもだいじょうぶ。ただし、シャッタースピードや絞りは必ず同じ値にしましょう。

いつごろ見える?

月食が始まるのは11月27日(火)、21時12分です。月が暗くなったと気づけるのは、月が半影のもっとも深いところまで入った「食の最大」のとき、23時33分ころでしょう。月はほぼ真南の空高いところ…に見えますから見やすいですね。半影月食が終わるのは日付が変わった28日1時53分です。

21時12分	半影月食のはじまり
23時33分	食の最大
1時53分	半影月食のおわり

半影月食の進行の様子
(日本全国どこでも同じです)